

将来の地域医療を支える人材の育成を目指し、 武田薬品と教育・研究に関する協定を締結

地域医療への包括的な視野を持つ人材の育成を通して、将来の医療に貢献。
地域医療の現状を踏まえ、課題解決にともに取り組む。

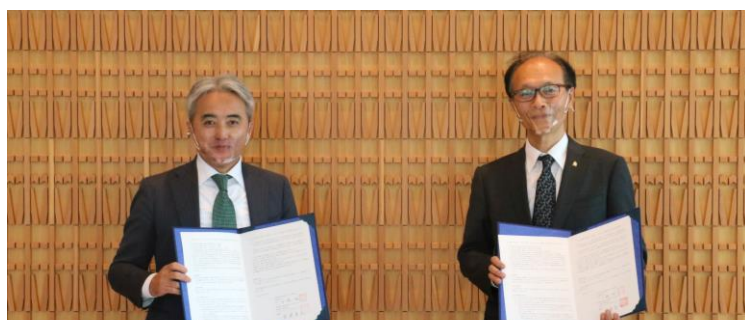
学校法人東京薬科大学（所在地：東京都八王子市、以下「東京薬科大学」）は、このたび武田薬品工業株式会社（本社：大阪府中央区、以下「武田薬品」）と、「地域医療のイノベーション実現を目指した教育・研究に関する協定」を締結しましたので、お知らせします。

今回の取り組みは、教育機関と製薬企業という業界の垣根を超えながら連携し、それぞれが蓄積してきた経験や知見を活用することで、地域医療への貢献を目指すものです。

東京薬科大学は武田薬品とともに、地域医療の現状を踏まえた薬剤師への期待や役割、そして医療環境変化や医療の未来やデジタルの進歩など、多岐にわたるテーマに関する教育・研究プログラムに取り組んでいくことを通じ、地域医療の課題解決を目指し、また地域医療を支える人材の育成にもつなげていきます。

近年の医療教育・研究に期待される役割は幅広く、地域完結型の医療を目指す現在の流れの中においても、その重要性はさらに増しています。薬剤師等には、それぞれの都道府県や自治体が進める地域包括ケアシステム構築への積極的な参画が求められ、医療を取り巻く日本の社会制度や政策に関してもより深い理解を持つことが必要となっています。地域の中心として機能する病院で勤務する薬剤師も、患者さんの多様なニーズに応えるため、幅広い疾患への理解や、デジタルツールを用いた治療の進展など、より広範な分野への知見が求められています。

東京薬科大学は、武田薬品との双方向のやり取りを通じ、これからの地域医療が抱える課題解決に先進的に取り組み、ともに持続的な医療環境の整備を目指します。



地域医療のイノベーション実現を目指した教育・研究に関する協定締結式：
東京薬科大学 学長 平塚明氏（右）と武田薬品 取締役ジャパン ファーマ
ビジネス ユニットプレジデント 岩崎真人氏（左）

武田薬品の医療政策・アクセス統括部長の岩下 圭二は、「この度、地域医療の在り方に関する研究につきまして、東京薬科大学と協定を締結できたことを喜ばしく思います。今後の研究を通じ、私たちは地域医療に貢献していきます。また本研究への取り組みが、次世代の育成にも役立つことを期待しています。」と述べました。

また東京薬科大学 学長 平塚 明は、「地域医療への貢献を目標に、これからの薬剤師や医療関係者が取り組むべき最新の情報や課題を、武田薬品と協働で学生教育や研究に活かしていける場ができたことを大変嬉しく思います。この新たな産学連携を活用し、地域医療を支える薬剤師等の育成・研究に関する日本のトップランナーの東薬として、頑張っていきたいと思っています。」と述べています。

■お問い合わせ

学校法人 東京薬科大学 教学 IR 研究推進課

TEL:042-676-5111(代表) E-Mail:gakumu@toyaku.ac.jp

〒192-0392 東京都八王子市堀之内 1432-1

※ 本資料は、文部科学記者会、都庁記者クラブ、八王子記者クラブ、大学プレスセンター、大学新聞社、教育学術新聞社、薬事日報社、共同通信社へ配布しています。